

2021 年度目標達成状況報告書（工学研究科）

*自己評価は「S・A・B・C」の4段階で「S:十分満たしている、A:満たしている、B:概ね満たしている、C:満たしていない」

No.	評価基準		
1	年度目標	工学研究科 大学院教育を安定して走らせる ・大学院入学者定員（30名）の確保	
	年度末報告	学部の自己点検 WG による点検・評価	
		自己評価	S
		理由	2021 年度修士 1 年次は中間審査会発表 45 名、2022 年度入学者 39 名 + 早期卒業予定者 11 名 = 50 名の予定
	改善策	入学定員の検討	
No.	評価基準		
2	年度目標	工学研究科 大学院教育を安定して走らせる ・大学院担当教員の充実と新規科目の増設	
	年度末報告	学部の自己点検 WG による点検・評価	
		自己評価	A
		理由	助教 5 名を大学院担当教員に登録した。2022 年度から講義担当予定。
	改善策	継続的な新任教員の大学院担当教員化を行い、また授業科目の充実をはかる。	
No.	評価基準		
3	年度目標	サステイナブル工学を作る ・新規科目（サステイナブル工学特別講義）の開講	
	年度末報告	学部の自己点検 WG による点検・評価	
		自己評価	B
		理由	2021 年度「サステイナブル工学特別講義」を開講、助教の講義 7 コマ + 就職関連 2 コマ また、2022 年度には実質 4 科目増える予定
	改善策	2022 年度に特別講義 I（学術）、II（就職支援）に展開する。	
No.	評価基準		
4	年度目標	サステイナブル工学を作る ・修士 2 年次の就職支援（サステイナブル工学特別講義による業界研究）	
	年度末報告	学部の自己点検 WG による点検・評価	
		自己評価	B
		理由	2021 年度サステイナブル工学特別講義内で 就職指導の講義を 2 コマ実施。
	改善策	2022 年度からサステイナブル工学特別講義 II（就職支援）7 コマを開講予定。	
【年度目標達成状況総括】			

2021年度は研究科の設立3年目、第2期初年度であった。この3年間で教務行事等の進め方も確立した。今年度の目標事項もおおむね達成し、順調に軌道に乗りつつある。次年度2022年度が最初の2期4年間の最終年度。工学研究科の大枠を固めて、次期の研究科長に引き継ぐ予定である。

大学院としての予算の確保は今後の大きな課題。大学院生の学会発表の支援など、これからの運営には、それに応じた自由度のある予算枠が必要。

【2021年度目標の達成状況に関する大学評価】（自己点検評価委員会）

年度目標4件に対し概ね達成されている。サステイナブル工学の開講を軸にした新規科目の増加等については引き続き検討してほしい。